

## 「探究」する／「問い」を育てる総合学習

## — 実践紹介と「京都の歴史」をテーマにした学びの提案 —

- 日文研所蔵資料の活用
- 施設・設備の活用
- 教員の専門知識の向上

国際日本文化研究センター（日文研）では、京都市教育委員会との協働で所蔵資料や施設を活用した総合学習（探究学習）の展開を模索しています。本ワークショップでは、「京都」や「日本伝統文化」を糸口に、子どもたちの「問い」を育て、自ら「探究」する総合学習をどのように構築していくか—その方法を、具体的な実践例や資料をもとに考えていきます。どうぞ奮ってご参加ください。

開催日時

2024年8月5日（月）14時～16時30分

開場 13時

場 所

国際日本文化研究センター 第1セミナー室／図書館

開会までのあいだ、第1セミナー室にて講演でも触れられる日文研所蔵資料やパネルを事前にご覧いただけます。

● お申込制（定員：50名） ● 参加無料

主催：国際日本文化研究センター 後援：京都市教育委員会・滋賀大学教育学部

## 当日の登壇者・講師



## 北村拓也（滋賀大学教職大学院准教授／滋賀県総合教育センター主任研究員）

専門は国語科教育、教育実践。彦根市立南中学校および滋賀大学教育学部附属中学校の教諭、滋賀県総合教育センター研修指導主事、滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課指導主事を経て現職。



## 山田奨治（国際日本文化研究センター教授／総合研究大学院大学教授）

京都大学博士（工学）。専門は情報学、文化交流史。筑波大学大学院修士課程医科学研究科修了後、（株）日本アイ・ビー・エム、筑波技術短期大学助手などを経て現職。主な著作に、『日本文化の模倣と創造 オリジナリティとは何か』（2002）、『情報のみかた』（2005）、『東京ブギウギと鈴木大拙』（2015）、『びわ湖のほとりで 35年続くすごい授業：滋賀大附属中学校が実践してきた主体的・対話的で深い学び』（滋賀大学教育学部附属中学校との共著／2018）など。

お問い合わせ先

お申込はウェブフォームから 締切：2024年7月17日（水）正午

 国際日本文化研究センター 総務課広報係

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3丁目2番地

<https://forms.office.com/r/GY6KBDnfDT>

TEL 075-335-2012

MAIL [kouhou@nichibun.ac.jp](mailto:kouhou@nichibun.ac.jp)WEB <https://www.nichibun.ac.jp/>

## プログラム・スケジュール

14:00～14:40

講演 ①・質疑応答

北村拓也（滋賀大学教職大学院准教授／滋賀県総合教育センター主任研究員）

### 「子どもたちが自ら探究する総合学習に向けて —— BIWAKO TIME を手掛かりに」

「BIWAKO TIME (BT)」は、40年以上続く調査研究型の学習活動です。現在は「論理的思考で自ら探究するBT」を合言葉に進めています。本講演では、BTの歴史、学習内容、大切にしていることなどをご紹介します。子どもたちの探究する力の向上につながれば幸いです。

14:40～15:20

講演 ②・質疑応答

山田奨治（国際日本文化研究センター教授／総合研究大学院大学教授）

### 「「問い」を育てる総合学習 —— 滋賀大学教育学部附属中学校の実践から考える」

総合学習は、生徒が「学び方」を学ぶとともに、創造的な「問い」を育てる場であってほしいと考えます。本講演では、滋賀大学教育学部附属中学校の実践を参考に、京都の歴史についての総合学習を作る糸口を探ります。

15:20～15:40

北村氏・山田氏による対談、フロアとのディスカッション

司会：光平有希（国際日本文化研究センター助教）

岩本信吾（京都市教育委員会指導部学校指導課指導主事／京都市総合教育センター指導室指導主事）

15:40～15:50

休憩（10分間）

15:50～16:30

日文研図書館・所蔵貴重資料見学

酒呑童子絵巻（江戸期）／歌川国貞「飲食養生鑑」（1850）／明石博高旧蔵 金属標本（明治初期）／橋本澄月『京都府区組分細図』（1879）／吉田初三郎『京都名所大鳥瞰圖』（1928）など

